

施設の概要

1 東西自由通路(延長約80m, 幅員4m)

エレベーター 東口・西口各1基(定員17人)
 公衆トイレ 東口・西口各1箇所(多機能トイレ含む)

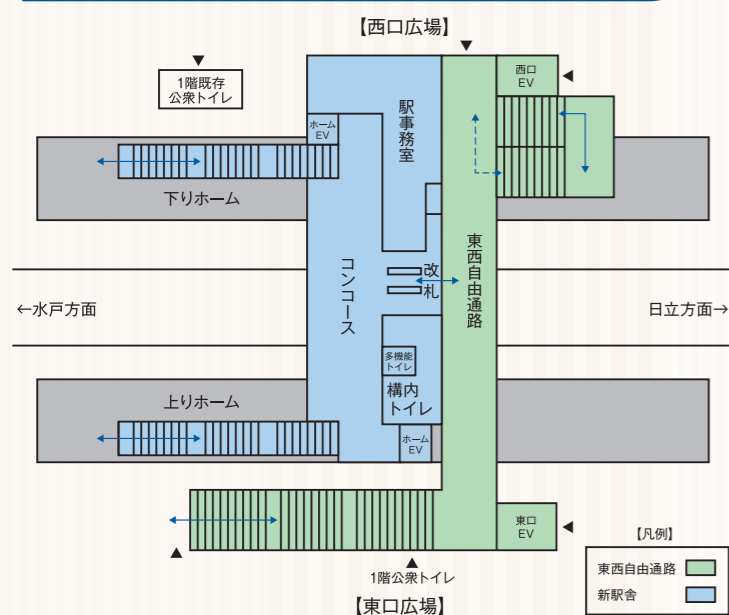
2 新駅舎(約590㎡)

構内エレベーター 上り・下りホーム各1基(定員11人)
 構内トイレ 1箇所(多機能トイレ含む)



明るく開放的な東西自由通路内の待合いスペース

佐和駅東西自由通路・新駅舎 平面図



バリアフリーに配慮した視覚障がい者誘導ブロックやエレベーター、多機能トイレを設置

駅前広場の完成イメージと今後の予定

佐和駅東口地区については、土地区画整理事業により東口広場や都市計画道路等の基盤整備を進めるとともに、佐和駅西口地区においても、西口広場や自転車駐車場の改修、歩行者空間のバリアフリー化などを一体的に進める計画としております。このたびの新たな佐和駅の完成により、駅東西間の利便性と安全性が向上するとともに、今後予定するこれらの駅周辺の環境整備により、佐和駅を中心とする地域のさらなる発展が期待されます。

東口広場



令和6年春
完成予定

西口広場



令和7年春
完成予定

完成 常磐線佐和駅 東西自由通路・新駅舎

～駅が変わり、まちも変わる～



令和5年9月2日供用開始



事業の目的

明治30年に開設され、地域の皆様に親しまれてきた常磐線佐和駅は、改札口が西側に1箇所のため、東側からの利便性向上を求める声が上がっていました。

また、西口広場の日常的な混雑や、駅へ向かう歩行者や自転車などの安全性が課題となっていたことから、新たに東口広場を整備し、西口広場とをつなぐ東西自由通路を整備するとともに、あわせて駅舎を橋上化することとしました。



混雑する西口広場



狭隘な大綱踏切

事業の経緯

明治30年 2月	佐和駅開業
〜	
平成30年 5月	佐和駅東西自由通路線都市計画決定
平成30年12月	JR東日本水戸社と事業合意
令和元年12月	基本設計完了
令和 2年12月	実施設計完了 JR東日本水戸社と施行協定締結
令和 3年 7月	仮駅舎建設開始
令和 3年12月	仮駅舎供用開始
令和 4年 1月	旧駅舎取り壊し 佐和駅東西自由通路・新駅舎建設開始
令和 5年 9月	佐和駅東西自由通路・新駅舎完成



旧駅舎



佐和駅東西自由通路・新駅舎

佐和駅のデザイン

01 地域の意見を踏まえたデザイン検討

デザイン
コンセプトの検討

- ・駅の利用実態
- ・地域の思いや歴史の調査
- ・茨城大学の学生によるデザインコンセプトの提案

【基本設計】
デザイン(素案)の作成

地域の意見
取りまとめ

- ・令和元年9月
佐野中学校区12自治会の住民を対象とした説明会(計4回)
- ・令和元年11月
佐和高校生との意見交換会

【実施設計】
デザインの決定

02 佐和駅のデザインコンセプト

中心性

まちの中心としての存在感を感じさせる外観

和み

気持ちが穏やかになり、くつろいだ気分になる空間整備

うるおい

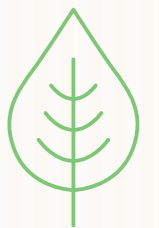
佐和の地名の由来である「沢」に
いるような、落ち着きがあり、
うるおいを感じさせる景色



東ロイメージ



西ロイメージ



新しい佐和駅が出来るまで・・・

仮駅舎建設

令和3年7月～12月



永年利用されてきた旧駅舎



仮駅舎供用開始

基礎工事

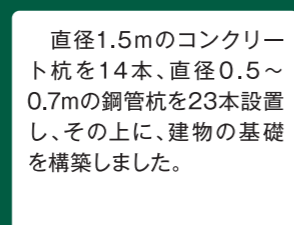
令和4年1月～6月



杭設置状況(東口)



杭設置状況(西口)



基礎構築(東口)

直径1.5mのコンクリート杭を14本、直径0.5～0.7mの鋼管杭を23本設置し、その上に、建物の基礎を構築しました。

鉄骨組立

令和4年7月～12月



鉄骨組立状況



鉄骨組立状況



床板打設完了

線路上空については、最終電車が通過した後、250tクレーンにより鉄骨を架設するなど、建物の骨組みを組立てました。

屋根、内・外装、機械設備等工事

令和5年1月～8月



屋根・外装工事完了(東口)



内装工事状況(待合スペース)



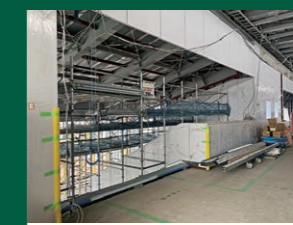
屋根・外装工事完了(西口)



内装工事状況(東口階段)



内装工事状況(自由通路)



内装工事状況(西口階段)

改札切替

令和5年9月2日



新しい駅名標

壁、床、天井等の内装工事や、木をイメージした明るい色味の外装工事、エレベーター等の機械設備工事等を順次行い、佐和駅が生まれ変わりました。